

素材とブランドオーナーに近い工業用デザイナーを結ぶ新ビジネスが快走している。マテリアルコネクショント呼ぶビジネスを展開するのが日本写真印刷グループのエムクロッシング(東京)。「ライブラリー」の来場者が増え続けている、この素材プラットフォームに對するニーズの高さを実感している(吉川久美子代表取締役)。素材を加工した製品を展示し、デザイナーがニーズに合った素材を探す場、さらに素材の用途を探したり、素材調査をデザイナーに提供したりする。マテリアルサイエンスの技術的知識と、人の生活における価値をつなぐ「翻訳者」(同)を追求する。樹脂をはじめとして素材産業の新しいサポーターとして着実に地歩を拡大している。

# 素材 × デザイナー マッチングビジネス快走

## ライブブラリー 来場者急増

### エムクロッシング

(日本写真印刷グループ)

吉川社長



**アイデアを実現**  
「Every Idea Has Material Solution」。1997年、ニューヨークでスタートしたマテリアルコネクションの

基本概念は、素材にはアイデアを実現する力がある(同)と工業デザイナーのアイデア作りのソリューションに素材を提案する。ライブブラリーを訪れるデザイナーは、実際に素材を手にとりて見る。素材起点でアイデアを広げる。一方で作りた

いものを素材の機能や物性で実現する(同) 双方の開発が進んでいる。靴の上面にポリエステルのメッシュを貼り付けることで、足の固持性を

格段に高めたバスケットシューズ「エアージュョーダン」はマッチングの成功例だ。ポリエステルのメッシュはゴムホースの耐寒材料に使われていた。日本でもポリエステ

ルやエンブラのメッシュを立体化することで、フィソリタンク回りのフィ

ルターなど既存の工業用途だけでなく、トレーなど雑貨用途の開拓が始まろうとしている。

マテリアルコネクションはニューヨークのほか欧州、アジアに合計7つの拠点を展開する。いずれの拠点も素材に関係の



深い都市で、自治体や工業組合などと組んで、ライブブラリーやコンサルタント事業を展開する。日

本ではライセンスを受け、日本写真印刷(京都市、鈴木順也社長兼最高経営責任者)とデザイン企業と合併で設立したエムクロッシングが運営主体となっている。

### 1600点の素材展示

東京・青山にライブブラリーを有し、常時1600点の素材を展示する。展示カテゴリーは樹脂、セラミックなど素材7種類にプロセスの8つ。展示する素材は新規性、異業種への転用可能など4つの基準に基づきニューヨークで審査され、毎月40の素材が新規に加えら

れる。素材のトップは樹脂で約4割を占める。会員はデザイナーおよび先行開発部門で、ホームページには世界の主要なデザイン関連のアカデミーからのアクセスも含めグローバルで1日に100万ページビューを記録している。

### 生活の価値向上

日本では自動車、家電、スポーツ関連などのデザイナーがライブブラリー会員に登録する。素材提供側には大手化学メーカー、繊維メーカーなどが名を連ねる。マテリアルコネクションでは4半期に一度、企画展を開催、ここに素材企業の参加を呼びかける。さらにデザ

イナーのニーズを素材メーカーに伝えるとともに、グローバルネットワークを使って素材メーカーに海外市場開拓の機会を与える。今後、飛び抜けた機能性を持つ素材、ファブリック、素材デザインなどをテーマに展示会を開催し、素材企業、デザイナーに訴求する。「防音を例にとると、

これまでは防音性能の向上ばかりに開発の目が向けられていたが、人はその防音に何を求めるのかという観点が必要。人の生活の価値をマテリアルサイエンスで向上させる。この2つの架け橋となる(同)ことが同社の目標であり、ビジネス拡大の鍵となる。